

収録基準と凡例

1. 基本的に編者が日本もしくはシリア、ヨルダン、レバノンの図書館などで所在を確認できたもので、4 ページ以上の文献を収録している。ただし女性労働研究については、所在が不明のものでも、当該文献を参照したり紹介したりしている他の文献から内容がわかる場合は、収録した。この場合、所蔵情報は記載していない。

2. 収録した文献には、図書、雑誌、単行書所収論文、雑誌論文、学位論文が含まれる。学位論文は、シリア、ヨルダンの女性労働研究で、所在を確認できたもののうち、本書に収録した文献の二つ以上に参照されているもののみ収録の対象としたが、結果的にシリアについては該当する学位論文はなかった。レバノンについては調査期間が十分ではなかったため、収録の対象外とした。

3. 所蔵状況については、シリア、ヨルダン、レバノンでは2006年4月～2008年3月の調査時点での状況を記載している。また2011年8月時点で各国UNDPと統計局の出版物でウェブサイトで見ることができるものについては収録した。日本国内の所蔵や団体のウェブサイトに関する情報は、基本的に2011年8～9月時点のものである。なお、所蔵の項の「図」は、「図書館」または「図書室」を意味する。またアジ研図書館で所蔵しているものについては請求記号を()内に記載した。

4. 国別、項目別に、日本語文献、英語文献(若干のフランス語文献を含む)、アラビア語文献の順で掲載した。文献番号は、第1章アラブ諸国はA1、第2章シリアはS1、第3章ヨルダンはJ1、第4章レバノンはL1から始まる連番となっている。

5. 配列は、基本的に、著者(編者)の50音順またはアルファベット順で、出版年順である。同一著者で同一出版年の文献が複数ある場合は、タイトルの50音順またはアルファベット順に配列した。ただし3.統計資料については、(1)統計年鑑、(2)人口センサス、(3)労働統計、(4)その他、に分類し、前3者については出版年順に配列した。また6.女性団体関係資料については、複数の女性団体を紹介している文献やウェブサイトをまとめ、その後個別の女性団体関係資料を、女性団体の英語名のアルファベット順にまとめ配列した。配列においては、最初の定冠詞(the, la, le, lなど)は除いた順序で配列している。ただしアラビア語定冠詞(al, el, などと表記される)を含む著者名がアルファベットで表記されている場合は、定冠詞部分を含めた順序で配列している。

6. 書誌事項は、次の順で記述した。なお、日本語以外の文献では、書名は斜体になっている。

(図書) 著者名、出版年

書名(シリーズ名(ある場合のみ))、出版地、出版者、ページ数

(単行書所収論文) 著者名、出版年

論文名、編者名、書名(シリーズ名(ある場合のみ))、出版地、出版者、収録ページ

(雑誌論文) 著者名、出版年

論文名、雑誌名、巻(号)、収録ページ

※雑誌において、/ は合併号、— は連載を示す。

(学位論文) 著者名、提出年

論文名、提出先、ページ数

7. アラビア語の略語は下記の通りである。

ص: صفحه و: ورقة ج: جزء الخ: إلى آخره دم: نون مكان دن: نون نشر
دت: نون تاريخ

8. 著者名について、最初の 1 名は姓、名の順で掲載している。英語・フランス語においては機関名、誌紙名、出版者名の冒頭の定冠詞は原則として省略している。

9. 基本的に本文言語はタイトルの言語と一致している。タイトルに英語とアラビア語が併記されている場合は、本文も両言語併記である。ただしタイトルはアラビア語だが本文は英語でも書かれている場合や、タイトルは英語アラビア語併記だが英語は要約のみなどの場合は、各文献の解説の中で言及している。

10. 複数国を扱っている資料については、第 1 章 アラブ諸国に収録したが、利用者の関心のある国のみ参照すれば情報が得られるように、各国の該当する項目にも第 1 章に収録した文献の番号を掲載した。

11. 文献が、本書に収録している他の文献に参照されている(先行研究として紹介、本文中で引用、参考文献リストに掲載、のいずれかに該当する)場合は、各文献の最後に※で、当該文献を参照している文献の文献番号を記載した。

12. 巻末に収録した著者索引は、人名、機関名を、日本語、英語・フランス語、アラビア語の順に、それぞれ 50 音順もしくはアルファベット順で掲載している。なお団体の出版物を索引から引けるよう、著者でなくても出版者が団体の場合は著者索引に掲載している。

13. 著者索引においては、機関名のフルネーム、略称どちらでも引けるように索引に掲載しているが、フルネームを参照するよう指示を入れてあるので、そこから目的の文献を探していただきたい。また同一著者が複数の言語で執筆している場合は、各言語の著者名を索引に掲載しているが、文献番号についてはより利用者の多い言語による表記を参照するよう指示を入れてあるので、そちらを参照していただきたい。

14. アラビア語のカナ表記は、基本的に三浦徹、東長靖、黒木英充編『イスラーム研究ハンドブック』（東京：栄光教育文化研究所，1995）の表記方法に従った。またアラビア語の ۱、أ、! については、基本的に文献の表記に従っている。